

白岡市協働のまちづくりモデル事業補助金

事業計画書

団体名	山の公園企画運営部会
団体の代表者	
団体の所在地 (代表者の住所) 及び会員数	所在地 〒349-0218 (住所) 白岡市白岡 会員数 14 名(内オブザーバー2 名)
団体の設立年月日 及び活動年数	2014 年 4 月 8 日設立 (山の憩いの森公園企画運営部会) 2021 年 3 月 14 日名称・規約変更 (山の広場追加による) 活動年数 8 年 2 か月
事業の種類	市民提案事業
事業名	「山の広場」の整備
実施期間	令和 4 年 7 月 1 日(金) から 令和 5 年 3 月 31 日(金) まで
実施場所	山の広場 (白岡市白岡 711-1)
予定参加者数	作業者予定数約 10 人 (公園利用者 述べ約 4000 人)
事業概要	「山の広場」は、梨畑跡地を地権者から白岡 2 山行政区会が 1 年半ほど前に無償で借り受け、白岡市他の援助をいただきながら地域住民が協力して「地域住民の憩いと集いの場」および「災害時の避難場所」として活用することを目的に境界の整備、倉庫、椅子、日陰のあるお休み処等を設置、井戸を作成、農園や花壇を設けるなど自助努力で整備してきました。 今回は、今後のイベント開催を想定して、折りたたみテーブルを購入し、自分たちで作成できる野外置きベンチを増設します。また、搬入口の劣化した扉の作成・交換を行い、その際に車の出入りが現在よりも容易になるように扉の位置を道路から離れるように変更します。
事業実施の効果	コロナ感染症が落ち着き始めており、イベントの開催が可能となって来ましたが、この広場にはまだ公園ベンチやテーブルは少なく、大勢が集まるイベント開催時には YCC や八幡神社、コミセンなどで利用しているテーブルやパイプ椅子を持ち込まざるを得ません。今回、野外用にベンチやテーブルを作成設置、保管することで運搬作業や返却時に洗う作業を少なくすることができます。また、以前から設置されていた搬入口の扉は腐食してきており、新しい扉を設置することにより安全に開閉できるようになります。その際、扉の設置位置を若干変更することにより車が門扉と接触する危険性を少なくすることができます。 これらの事業により、イベント開催時の会場設営・撤収にかかる労力が大幅に減少し、搬入口の開閉や車を入れる際の安全性が向上することが期待されます。



収 支 計 画

1 収入の部

項 目	予算額 (円)	内訳 (算出の明細)
白岡市協働のまちづくりモデル事業補助金	75,000	
行政区会補助金	28,350	
合 計	103,350	

2 支出の部

項 目	予算額 (円)	内訳 (算出の明細)
ガーデンテーブル(折りたたみ 120×70×75cm)	44,000	22,000 円×2 台
ブラウン防腐レッドウッド 2×4 10F (38×89×3048mm)	30,492	2,178 円×14 本
防腐赤松角材 (75×75×3000mm)	14,432	3,608 円×4 本
キシラデコール	10,800	10,800 円×1 缶
うすめ液 (1.6L)	798	798 円×1 缶
ハケ (50mm 10本)	1,080	1,080 円×1 セット
ねじくぎ (50mm 85本入)	1,748	437 円×4 箱
合 計 (うち対象外経費の額)	103,350 ()	

添付書類 (事業補助金応募時提出資料と変更ないため省略いたします)

- ・算出の明細がわかるもの (見積書の写し等)
- ・団体の規約、会則等
- ・団体の活動状況がわかるもの (総会資料、団体の広報紙等)
- ・団体の役務の提供に係る料金を計上する場合は、その内訳がわかるもの
- ・その他事業計画の内容がわかるもの

備考欄